

Nishiaizu



舞い上がる炎に
今年一年の無病息災と
五穀豊穡を願う——

もくじ — Contents —

P 2 特集 つながり広がる
「地域学校協働本部事業」

P 8 まちの話題

いわき市立豊間小との冬季交流事業、
新春交歓会、野沢初市、フィンランド
式サウナ講演会、喜多方警察署長から
感謝状 ほか

P 12 町からのお知らせ&ニュース

お済みですか？申告準備、雪国まつり
告知、齋藤さんに高齢者叙勲、町長コ
ラム、農業委員に岩原さん、ほか



地域学校協働本部

◆地域学校協働活動事業

- ①学習支援活動
- ②家庭教育支援活動
- ③地域活動・ボランティア活動

県モデル事業として、2017～2019年度の3カ年で実施しています。

◆学校支援活動事業

- ◎登下校の見守り、部活動支援、授業への協力など

◆放課後子ども教室事業（西小わくわくクラブ）

県モデル事業で「地域学校協働本部」を設置

町では、平成29年度に県モデル事業の委託を受け、「地域学校協働活動事業」として①学習支援活動、②家庭教育支援活動③地域活動・ボランティア活動に取り組んでいます。また、これらの事業を推進するため、全てを総括した

「地域学校協働本部」を設置し、活動計画やコーディネーター等の配置、活動の評価・検証などを行っています。本部の推進委員は、学校関係者やPTA、各団体の代表者、元教員などで構成し、さまざまな意見を交わしながら試行錯誤を重ね、事業を進めています。



つながり広がる 「地域学校協働本部事業」

「学校支援」から「連携・協働」へ

町では、地域と学校が連携しながら地域全体で子どもの成長を支え、地域を創生する活動として、「地域学校協働本部事業」を推進しています。学校と地域と家庭が相互に連携し、明るい未来の土台を創っていく。今月号では、「地域学校協働本部事業」について紹介します。

これまでの取り組みと新たな事業「地域学校協働活動」

町では、平成28年度まで「放課後子ども教室事業」や「学校支援活動事業」を通して、地域の皆さんの協力の下、さまざまな学校支援を行ってきました。

具体的には、児童生徒の登下校の見守りや、授業への協力、放課後や休日の体験活動支援などで、多くの地域の皆さんが、学校内外で子どもを支えてきました。

しかし近年、全国的に少子高齢化が進み、共働き世帯・一人親世帯が増え、家庭教育の困難さや所得格差などの問題が浮き彫りになってきています。子どもたちは、こうした急激に変化する社会で生き抜く力を身に付けていかなければなりません。そして、それぞれが地域を支え、社会を支えていく必要があるのです。そこで、国は新たな事業として「地域学校協働活動事業」を開始しました。

この事業では、地域の高齢者や保護者、PTA、民間企業、団体など、幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支え、子どもたちとともに、地域と学校が相互に連携・協働してさまざまな活動を行います。



「支援」から「双方向の活動」へ

「地域学校協働本部事業」がこれまでの活動と最も異なる部分は、「連携・協働」を推進しているという点です。地域から学校への一方の支援だけでなく、学校や家庭、地域が双方向に連携し、協働で活動を行っています。互いに支援し合うことで、地域の特性を生かし、教育の充実や地域の活性化といった好循環が生まれることが期待できます。

期待される効果

- ◎地域における子育て環境の整備
- ◎地域資源を生かした子どもたちの豊かな学びの実現
- ◎子どもたちの地域への愛着の醸成
- ◎地域の担い手の増加
- ◎地域の活性化
- ◎人口流出の抑制 など

町の地域学校協働活動 ①

学習支援活動

学習支援では、地域連携担当教員を務める西会津中の江川新治教諭を中心に、放課後や長期休業を活用した学習会を行っています。この学習会の対象は小中学生で、苦手な



教科の克服や受験対策として活用することがあります。地域の退職した教員や塾講師、保護者や絵画クラブの会員など17人の皆さんが指導を行っています。

また、秋季学習会では地元の高校生がボランティアで学習支援に参加しました。小中学生からは、先輩たちの経験などを聞きながら学ぶことができ、少人数できめ細かく指導してもらえるので、会話しながら楽しく勉強に取り組んでいました。

さらに本年度は、漢字能力検定を2回実施し、子どもから大人まで、それぞれが目標に向かって挑戦しました。こうした取り組みは、教員の負担軽減も期待できます。しかし、継続した運営が課題であり、地域の力が必要とされています。

町の地域学校協働活動 ②

家庭教育支援活動

県モデル事業の委託を受ける県内8市町村のうち、家庭教育支援を行っているのは西会津町だけで、家庭教育コーディネーターと家庭教育支援員が相談対応や家庭教育に関する学習機会の提供を行っています。拠点となる相談室「こころのオアシス」は、西会津町の1階にあり、外から直接入る事ができます。ソファや仕切りがあり、安心して話せる空間になっているので、子どもはもちろん、子育て中の親やその家族、地域の人などが、お茶を飲みながら気軽に家庭教育について話すことができます。

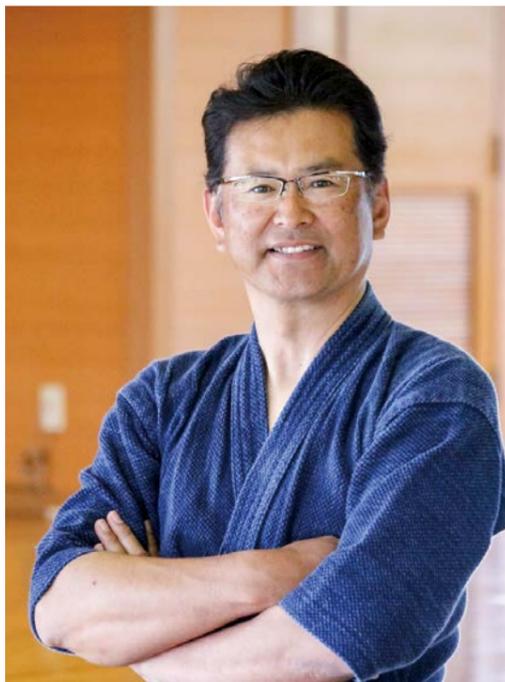


「相談のきっかけにしてほしい」という思いから始めた活動です。

また、本年度から町内の企業を訪問して行う、家庭教育の「出前講座」を行っています。これは、仕事などで忙しい保護者の皆さんに「子育てに関する話を聞いてもらいた

今後この活動に賛同してくれる個人や企業が増えるよう、そして町全体で子育てを応援できるよう、「こころのオアシス」から情報発信や支援を進めていきます。

INTERVIEW 1



地域連携担当教員（西会津中）

江川 新治 教諭

地

地域学校協働活動に取り組んだことで、子どもたちは学校の教育活動だけでは体験することのできない達成感や成就感を味わうことができたのではないかと思います。

大人と接することで、子どもたちは地域の中で自分が果たさなければならない役割に気付き、自分らしい生き方を知ります。また、地域の人と話し、地域の人が求めていることは何か、そして自分たちができることは何かを話し合うことで、刺激を受けます。こうした経験は一生の財産

子どもたちを育てるには
地域の人との関わりがとても大切
接点を持たせてあげられれば

なるし、地域を誇りに思う気持ちの醸成にもつながったと思います。JRCの発表会では、みんなが大きな声で胸を張り立派に発表していて、活動を通して大きく成長したなど感じました。
少し仕事が増え、先生たちにとつては大変な部分もありましたが、子どもたちを育てていくためには地域の人との関わりがとても大切です。
町にはまだまだ熱い思いを持っていて人がたくさんいるので、今後も子どもたちにとってそうした人との接点を持たせてあげられればと考えています。

INTERVIEW 2

誰かに話すだけで
心が軽くなることもあります
気軽においでください

2

年目を迎えた家庭教育相談室「こころのオアシス」では、新たに企業訪問（出前講座）を始めました。普段、仕事で忙しい保護者の方は、なかなか相談に訪れることができません。ですから、相談室で待っているだけでなく、企業に赴き、相談室の存在を知ってもらうと、喜多方警察署の協力の下、スマホやSNSに関する講演会を行いました。参加者の中には、何気なく子ども

もに持たせていた携帯電話の危険性に気付き、はっとする保護者もいました。
今後はより多くの企業を訪問し、家庭教育の分野で支援できればと思っています。
このほかにも、相談内容に応じて専門の機関と連携しながら、個々の問題を解決できるよう努めています。子育ては一人じゃありません。話をするだけで心が軽くなることでもありますので、ぜひ気軽においでください。



家庭教育コーディネーター

家庭教育支援員

紫藤 真理子 さん

星 佳子 さん

地域活動・ボランティア活動

地域活動をまとめているのは、今年4月から地域コーディネーターを務める廣瀬渉さんです。広い人脈と持ち前の明るい人柄で学校や地域、行政などをつないでいます。学校のJRC活動として取り組んだ「ボランティア活



動」では、中学生が自治区長さんと話し合い、活動内容を決めました。介護老人福祉施設で歌を披露したり、一緒にゲートボールや体操を行ったり、地域の特色を生かした活動で地区の皆さんを喜ばせていました。

また、町ゲートボール協会が毎月指導しているゲートボール講習会では、中学生が全国大会に出場するなど、大きな活躍を見せました。「中学生に負けられない」と、大人たちの練習にも熱が入っているようです。

さらに、平成29年度から活動を始めた「大山さゆり太鼓」も、仲間の輪が広がり、本年度には町内外のイベントなどで9回の演奏を行いました。今後も練習を重ね、地域活性化の一助となるよう活動していきます。

INTERVIEW 3

地域と学校の交流について
双方が良くなるようなアイデアがあればぜひ話を聞かせてほしい

町

に住む一員として、何かできることがあればと思い受けました。この事業ではさまざまな活動を行っています。子どもたちは地域の大人から学び、大人たちも子どもと活動することで元気になっているように感じています。こうした好循環を、町全体に広げて行ければうれしいですね。

この事業の課題は、「地域の人の要望をどれだけ活動に反映させられるか」だと考えています。機会があれば地域の人の話を聞くようにしてい

るのですが、正直なところ、そうした機会がありません。現状です。ですから、地域の話を聞く体制づくりが急務だと感じています。もし、地域と学校の交流について「双方が良くなるようなアイデア」があれば、ぜひ一緒に話をしましょう。

このモデル事業は来年が最後の1年。でも、この取り組みが本場のスタートだと思っています。判断基準は「子どもたちのためになるか」。地域の皆さんのご理解とご支援をお願いします。



地域コーディネーター
わたる
廣瀬 渉さん

協働活動の先にある、子どもたちと地域の明るい未来のために

地域学校協働活動事業は3カ年のモデル事業であるため、2019年度で終了となります。2年目の活動が終わろうとする今、これまでの取り組みを評価・検証し、改善点はないか、どういった活動方法が効果的なのかを再確認する時期にきています。

学校と地域、家庭が連携した事業を行うことで、新たな

て、子どもたちは体験しながら学び、考え、地域に支えられていることを知ります。また、地域の大人は、子どもたちと関わることで、やりがいや生きがいを見いだしています。

町では、今後も学校と地域がより連携しやすくなるような仕組みづくりを進め、町民の皆さん同士が共に学び、活

作業が増え、労力も必要となります。それぞれに負担となる部分もありますが、これまでの活動で確かなのは、子どもと地域の大人が関わることで、子どもも地域も元気になっていくということです。

この事業がなければ、出会うことがなかったかもしれない人と出会い、話し、何かを感じ、行動に移す。こうし

躍できる西会津町を目指していきます。

子どもたちのため、地域のために、「チーム西会津」の一員として、みんなで協働活動について、一緒に考え、取り組んでみませんか。

〈問い合わせ先〉

生涯学習課 生涯学習係
☎ 45-3244



西会津町地域学校協働本部事業が「文部科学大臣表彰」を受賞

学校や地域の協働によるこれまでの教育活動が高く評価され、「西会津町地域学校協働本部」として昨年11月に文部科学大臣表彰を受賞しました。この表彰は、学校と地域が連携して、特色ある充実した教育活動を行ってき

たという証です。

今後も、子どもたちが豊かに成長し、合わせて地域の活性化を図るために、町では、学校や家庭、地域が連携・協働する体制をさらに深めていきたいと考えています。



江添 信城教育長



猪のように果敢に猛進 新年の飛躍誓い 新春交歓会

新年の幕開けを祝う新春交歓会が1月11日に町公民館で開かれ、町民の皆さんら約200人が参加しました。年頭のあいさつでは、薄町長が「新たなまちづくりに果敢に猛進していきたい」と抱負を述べ、来賓の皆さんとともに威勢よく鏡開きを行いました。出席した皆さんは、振る舞われた料理などを味わいながら、新年の一層の飛躍を誓い合っていました。



西会津小で「租税教室」 税金の大切さを考え、学ぶ

1月17日、町の税務担当職員を講師に西会津小で租税教室が開かれました。受講した6年生の皆さんは、税金がなかったらどのような世の中になるかを描いたDVDを鑑賞し、税金がなぜ必要なのか、また、どんなことに使われているのかを考え、学びました。教室の最後には、児童らが一億円のレプリカを手を持ち、どのくらいの金額なのか体験しました。



年末の伝統行事を体験 元気によいしょ！こども園で餅つき

12月27日にこゆりこども園で餅つきが行われました。この餅つきは、園児らに年末の伝統行事を体験してもらうために毎年開催している行事です。当日は、園長先生らが力強い餅つきを見せた後、園児らが普段なかなか持つ機会のない杵を手、「よいしょ、よいしょ」と元気に餅つきを体験しました。この日ついた餅は、上手に丸めて鏡餅にしました。



西高生がボランティア指導員に 西高生が学習会で小中学生を指導

西会津中で開催された小中学生の秋季学習会に西高生7人がボランティア指導員として参加しました。この学習会参加は、町の「地域学校協働活動事業」の一環で、全12日間の日程のうち5回に西高生が参加しました。日頃授業を受ける立場の高校生にとっては、教えることに戸惑いもあったようですが、自分の勉強方法を振り返る良い機会にもなったようでした。



いわき市立豊間小との冬季交流から
雪国・西会津で再会、
記憶に残る思い出に

1月18日から19日にかけて西会津小と豊間小との冬季交流が行われ、両校の5年生の児童らが夏季交流以来5カ月ぶりに再会しました。児童らは、初日にスノーハイキングやそりすべりなどを行ったほか、2日目には、晴れ渡った空の下で雪遊びやスノーモービルなどを思い切り楽しみ、雪国の冬を体験しました。

「別れの集い」では、豊間小の柳井寧音さんが「会津の冬を体験し、自然の素晴らしさや厳しさを知ることができました。また遊びに来たいです」と感想を発表し、西会津小の齋藤遥さんが「みんなと楽しい2日間を過ごせてよかったです。これからも仲良くしたい」と交流を振り返りました。

最後は、西会津小の児童らが「また西会津町へ来てくんなしよ！」のメッセージを掲げ、別れを惜しみながら豊間小の児童らを見送りました。

みんなで一緒に過ごした時間は本当に楽しかった様子で、いつまでも記憶に残る最高の思い出となったようでした。



感謝状を受け取る長谷川さん（写真提供：西会津交番）

交通安全や防犯活動などに貢献 喜多方警察署長から感謝状

平成30年に警察業務などに貢献した功労者への感謝状贈呈式が昨年の12月28日に喜多方警察署で行われ、町内では次の皆さんに感謝状が贈られました。
【団体】一般社団法人西会津ケーブルネット【警察広報活動への協力】、西会津町消防団【捜索や火災予防など警察業務への協力】
【個人】長谷川幸夫さん（安座）
【西会津交番の環境美化に対する功労】



舞い上がる炎に1年の無病息災願う 町内各地区で伝統行事「歳の神」

小正月の伝統行事「歳の神」が1月13日～15日にかけて町内各地で行われました。10町内では、地域の皆さんが昼間に高さ約5mの歳の神を作り、午後6時に神事を行った後、厄年の皆さんなどが点火しました。火は勢いよく燃え上がり、参加した皆さんは餅やスルメをあぶりながら、高く舞い上がる炎に1年の無病息災などを祈願していました。



埼玉女子短期大学の学生が訪問 短大生がこども園で読み聞かせ

12月19日に埼玉女子短期大の学生がこゆりこども園を訪れ、自分たちで作ったオリジナルの絵本の読み聞かせを行いました。皆さんは、国際コミュニケーション学科、エアライン・ホスピタリティコースの学生で、福島の花々をあしらった特別塗装機「東北フラワージェット」をきっかけに、機体に描かれている町のオトメユリの保護活動などにも参加しています。



町の支援で新しいボートを購入 西高ボート部に新艇導入

昨年12月、西会津高校ボート部に新艇が導入されました。今回導入したのは「シングルスカル」という一人乗り競技用のボートで、ボディカラーは深紅。荻野漕艇場にあるボートとしては珍しいカラーリングでとても目立っています。新艇は町の支援を受けて購入したので、ボート部員は町への恩返しも含め、来シーズンの活躍を誓っていました。

30年ぶりに野沢中央通りで開催 縁起物求め初市にぎわう

恒例の野沢初市が1月13日に開かれ、縁起物の起き上がり小法師や風車などを求める大勢の人でにぎわいました。
野沢の初市は天候が悪い「荒れ市」といわれますが、今年は時折青空がのぞく穏やかな天候の下での開催となりました。午前11時から神事が行われた後、関係者らが鏡開きを行い今年一年の商売繁盛や商店街の活性化などを祈願し、来場者を歓迎する「福まき」や「大抽選会」などのイベントも行われました。また、大山さゆり太鼓の皆さんによる力強い太鼓演奏も会場を盛り上げました。
今年の初市は30年ぶりに野沢中央通りで開かれ、軒を連ねた露店に家族連れなどが列をつくりました。

↓餅やお菓子などの福まき。中には「当たり」付きの餅も！



↑会場を盛り上げた太鼓演奏

↑大勢の人でにぎわいました

↓老人クラブの皆さんなどを対象に町役場で行った講演会



↑ KURA. (クラドット) で開催した講演会



↑講師のこばやしあやなさん

雪国でのサウナの可能性を探る フィンランド式サウナ講演会

1月10日、フィンランド在住のサウナ文化研究家・こばやしあやなさんが町役場と町内飲食店で書籍「公衆サウナの国フィンランド：街と人をあたためる、古くて新しいサードプレイス」の発刊記念講演会を開催しました。

講演では、こばやしさんが自身の体験を交えながら写真や映像でフィンランドの文化と生活様式を紹介し、日本におけるフィンランド式サウナでのまちおこしの可能性について話しました。訪れた皆さんは興味深そうに講演に聞き入り、日本の暮らしと重ね合わせていました。

この講演会は、町地域おこし協力隊の佐々木祐子隊員が企画したもので、佐々木隊員は「冬を楽しく乗り切るアイデアとなれば」と話しました。

サウナはお風呂のライバルではなく、さまざまに暮らしや産業と結びつく可能性があるものです。



町の申告受け付けは2月8日～3月15日 お済みですか？ 申告準備

今年も町・県民税の申告、所得税の確定申告の時期を迎えました。町では、2月8日から町・県民税の申告納税相談を行い、平成30年中（昨年1月から12月まで）の収入などの申告を受け付けます。申告納税相談は、平成31年度の町・県民税、国民健康保険税などの課税の基礎となる重要な手続きです。忘れずに申告しましょう。

申告が必要な人

- ① 営業、農業などの事業所得があった人
- ② 家賃、地代などの不動産所得があった人
- ③ 株式の配当や生命保険の満期による所得があった人
- ④ 年金収入とそれ以外の複数の収入があった人
- ⑤ 給与所得者のうち、給与以外の収入がある人
- ⑥ 給与を2カ所以上から受けた人

平成31年1月1日現在で町に住所があり、次のいずれかに該当する場合は申告が必要です。

- (3) 中途退社やパートなどで年末調整をしていない人
- (4) 年末調整は終わっているが、控除漏れや医療費控除等の控除を受ける人
- (5) 住宅などの取得により、住宅借入金（取得）等特別控除を受ける人
- (6) 給与収入が2000万円を超える人
- (6) 収入が公的年金のみで社会保険料控除や生命保険料控除を受ける人

記帳・帳簿保存

農業を含む個人事業や不動産事業、山林事業などを営む人は、記帳・帳簿書類の保存が必要です。収入金額や経費を記載した帳簿、受け取った請求書や領収書などを5年から7年の一定期間保存する必要があります。

農業所得は収支計算で

農業所得は収支計算で算出してください。申告の際、昨年1年間の収入と経費を確認する必要があります。支払った内容や月日が分かる領収書、通帳などの書類を整理し、準備してください。

確定申告と町民税の申告

「所得税」において、主な給与以外の収入が20万円以内である場合や、年金収入が400万円以下で確定申告の必要がない場合でも、「町民税」の申告が必要です。特に年金は、すべての控除が適用されていない場合があります。

マイナンバーの記載と本人確認

平成28年以降の所得税などの申告書には、マイナンバーの記載が必要です。また、提出の際には本人確認書類（マイナンバーカードまたはマイナンバー通知カードと運転免許証などの本人確認書類）の写しの添付が必要です。なお、「e-TAX」で申告書等を提出する場合は、本人確認書類の提示または写しの添付は不要です。

申告に関する問い合わせはこちらまで！

町民税務課
税務係
☎ 45-2212

申告納税相談日程(会場：奥川みらい交流館)

月	日	曜日	午前受付 [9時30分～11時]	午後受付 [1時～3時]
2	8	金	小綱木・弥生・大舟沢	松峯・真ヶ沢・宮野
	12	火	小屋・極入	新町・小山・弥平四郎
	13	水	杉山・山浦・出戸	道目・中町・梨平
	14	木	塩・中ノ沢	向原・下松
	15	金	予備日 [奥川地区]	

申告納税相談日程(会場：町役場3階大会議室)

月	日	曜日	午前受付 [8時30分～11時]	午後受付 [1時～4時]
2	18	月	呼賀・井谷・八重窪	小清水・滑沢・滝坂
	19	火	平明・原	漆窪・新村・樟山
	20	水	荒木・高目・徳沢	上野尻5・下野尻1・楢木平
	21	木	上野尻1・柴崎・橋立	上野尻2・下野尻3
	22	金	端村・白坂・屋敷	上野尻3・上野尻6・熊沢
	23	土	予備日 [地区指定なし]	
	25	月	上野尻4・下野尻2	宝川
	26	火	森野	松尾
3	27	水	尾登・程窪・泥浮山	牛尾・山口・軽沢
	28	木	小杉山・黒沢	萱本
	1	金	縄沢・長桜	西林・青坂・出ヶ原
	4	月	下小屋・西原・西林東	上小島
	5	火	3町内・さゆりが丘	下小島
	6	水	大久保・塩喰	芝草
	7	木	7町内・西平	安座
	8	金	5町内・橋屋	1町内
	10	日	予備日 [地区指定なし]	
	11	月	堀越	4町内・四岐
	12	火	芹沼・牧・中野	6町内・10町内
	13	水	2町内	9町内1・戸中
	14	木	9町内2	8町内
	15	金	予備日 [地区指定なし]	

※ 各日混雑によりお待たせする場合がございますので、なるべく指定日時での申告にご協力をお願いします。

※ 指定日時以外または予備日に申告される場合は、事前に町民税務課（☎45-2212）にご連絡ください。

※ 午前・午後ともに指定時間内に受け付けを済ませてください。

野沢、尾野本、群岡、新郷地区の皆さんは、**申告会場が町公民館から町役場に変更**となっています。お間違いないようご注意ください。



申告に必要なもの

必要な書類がない場合、原則として申告相談に応じることができません。忘れずに持参してください。

☑ チェックしてみましょう！

- 印鑑
- 給与所得の人は、勤務先から交付された源泉徴収票
- 事業所得、不動産所得、配当所得、一時所得などの収入金額および経費が分かる書類（帳簿など）
- 農業所得のある人は、水利組合費、土地改良費、農機具代などの領収書
- 諸控除の証明書や領収書（生命保険・個人年金控除証明書、地震保険・火災保険の控除証明書、国民年金の領収書、医療費の領収書など）
- 税務署から届いた申告のハガキ（届いた場合のみ）
- 通帳および届出印鑑（還付を受ける場合に必要）
- マイナンバーカードまたはマイナンバー通知カードと本人確認書類（運転免許証など）

喜多方税務署からのお知らせ(申告書の作成について)

申告書は、国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」を活用して自宅などで作成し、郵送または「e-TAX」等で提出することができます。また、この際、マイナンバーカードおよびICカードリーダーライターをお持ちでない場合は、税務職員と

対面での本人確認を行うことにより、「e-TAX」のIDとパスワードを発行することができます。詳しくは、喜多方税務署まで問い合わせください。
<問い合わせ先>
喜多方税務署 ☎0241-24-5050(音声案内2番)



長年にわたり教育行政に貢献

高齢者叙勲 齋藤豊一さんに瑞宝双光章



齋藤豊一さんの高齢者叙勲（瑞宝双光章）が発令され、12月28日に町役場で伝達式を行いました。式では、江添信城教育長が「町としても名誉なこと。心からお祝いします」と齋藤さんに叙勲を伝達し、齋藤さんは「家族や地域の皆さんからいただいたご支援・ご協力が今日の栄誉に結びついた。感謝の気持ちでいっぱいです」と喜びを語りました。齋藤さんは昭和26年に教職に就いて以来、40年の長きにわたり教育行政の発展向上に努められました。

任期満了に伴う教育委員会教育長の任命

教育長に江添信城さんを再任



町では、教育委員会教育長の任期満了に伴い、江添信城さんを再任しました。12月26日に行った辞令交付式では、薄友喜町長が江添教育長に辞令書を手渡し、「人づくりには教育が大事。町の未来のために力を貸してください」と訓示を述べました。江添教育長は、「初心を忘れることなく、町の宝である子どもたちのために、教育改革に努めていきます」と抱負を語りました。江添教育長の任期は平成30年12月26日から3年間です。

町長コラム その4

先日、西会津町出身で現在県庁に勤務している方や、そのOBの方、また、西会津町と関わりのある皆さんにより「町長を囲む会」を開催していただいた。

今から10年ほど前までは「県庁西会津会」として毎年開催され、町出身者の皆さんとの交流や情報交換が図られていたが、現在は行われていない。

私は、これからのまちづくりには県との関係が重要であるとの考えから、上野尻出身で農林水産部に勤務している石本さんをお願いし、取りまとめや会場の手配などをしていただいた。町からは、私と副町長、職員の5名が出席した。

今回が初めての会なので、出身集落や現在の勤務部署などの自己紹介から始まったが、店員から終わりの

時間を告げられるまで大いに盛り上がり、大変有意義な会となった。

親御さんの名前を聞いて驚いたのだが、今回参加した皆さんは私の知っている方の息子さんたちで、親近感が湧いた。

今、人口減少対策が町の最大の課題である中、皆さんの「ふるさと西会津」を思う心に触れて、新たな西会津町総合計画に基づくまちづくりの大きな力になってくれるものと確信してきた。

これを契機に、さらに会を重ね、今回出席できなかった皆さんも含めて交流と連携を深めていくこととし、次の開催を楽しみに、三本締めで終了した。

西会津町長 薄友喜



9日の見どころ

冬の夜空を彩る スウェーデントーチ作り
日時：午後3時～
会場：体育館前



雪国ウエディング
日時：午後5時50分～
会場：多目的広場 特設ステージ



雪上花火
日時：午後6時10分～
会場：さゆり公園のどこからでも見えます



10日の見どころ



桐ゲタ飛ばし全国大会
日時：午後12時15分～
会場：多目的広場 特設ステージ

スノーモービルランド西会津
日時：午前10時～
会場：ふれあい広場

Let's ジョセササイズ
日時：午前11時15分～
会場：多目的広場 特設ステージ前



ホワイトステージ（9日午後3時～）

▷福島ゆかりのアーティストが集合！雪上ステージで熱いライブを繰り広げます。
▷詳細は町ホームページでチェック！



ミドリノマル



渡辺美 AKA THE ZOO116



高橋飛夢



ケンネル青木



三星章

西会津ならではのユニークなイベントが盛りだくさん！ 今年の雪国まつりは2月9日、10日です

第29回西会津雪国まつりが2月9日、10日の日程で開催されます。初日は、福島ゆかりのアーティストが出演する雪上野外ライブ「ホワイトステージ」や、西会津中の生徒が発案した「雪国ウエディング」を行うほか、ワークショップで作られるスウェーデントーチ、歳の神、雪上花火が真冬の夜を彩り、幻想的なひとときを演出します。

2日目は「オープニングセレモニー」から始まり、ご当地ヒーロー「丞神デナーSH OW!!」「レッツジョセサイズ」「桐ゲタ飛ばし全国大会」と恒例イベントが続き、ファイナーレには西会津産米などが当たる大抽選会「みかんでGO!!」が行われます。このほか、町内グルメの西会津味噌ラーメンやスイーツ

に加え、喜多方ラーメンなどの町外のおいしい出店も会場に集結します。西会津ならではのユニークなイベントが盛りだくさんの雪国まつり。ご家族ご友人お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。
《問い合わせ先》
町ふるさと振興推進委員会（町役場商工観光課内）
☎45-2213

10日のイベントを盛り上げます！



おくりと青木



お知らせ
INFOMATION

ケーブルテレビ
さゆりチャンネル
2月の放送案内

- ◆放送予定
- ◎子育て支援センターの役割と業務内容の紹介
- ◎「正しいラジオ体操くうれしい効果を自分のものにする」(火)金曜日の①午前7時25分、②夕方6時25分)

〈問い合わせ先〉
(一社)西会津ケーブルネット
☎45-4461



町の農業発展のために活動
農業委員会委員に岩原稔さん

町農業委員会では、空席となっていた農業委員会委員に岩原稔さんを任命しました。12月17日に行った辞令交付式では、薄友喜町長が「豊富な経験を生かし、農業行政に力添えをお願いします」と辞令書を手渡し、岩原さんは「先輩農業委員に指導をいただきながら、微力ではありますが尽くしていきます」と抱負を述べました。岩原さんの任期は平成32年7月19日までです。



年末からお正月にかけて役場正面玄関前に設置
町シルバー人材センターが門松寄贈

12月28日、町シルバー人材センターの上野進理事長(写真右)と小柴正意副理事長(同左)が町役場を訪れ、新春を彩る華やかな門松一对と町長室用の小門松を町に寄贈しました。門松は年末からお正月にかけて町役場正面玄関に飾られました。この寄贈は、町シルバー人材センターの厚意により毎年行われています。



皆さんの温かい善意に感謝
町内団体が歳末たすけあい募金などを寄付

12月25日、睦会が野沢祭礼の神輿運行で受けたご祝儀の一部を町社会福祉協議会に寄付しました(写真左上)。また、町仏教会は、托鉢で受けた金銭の一部を歳末たすけあい募金として寄付し(同右上)、歳末助け合いチャリティーショー実行委員会は、12月16日に開催したチャリティーショーの益金の一部を寄付しました(同左下)。さらに、町老人クラブ連合会は、会員から募った歳末たすけあい募金を寄付しました(同右下)。



すごいな！むし歯のない子(11月22日に3歳児7人を対象に健康診査を実施)



冬期間の水道
使用に注意

昨冬は凍結などによる水道管の破裂が多発しました。厳寒期を迎えるにあたり、水道管の破裂や不凍水抜栓の不具合等による宅内漏水で、メーター検針再開時に水道料金が高額な請求にならないよう次の点を確認し、水回りの管理・再点検をお願いします。



- ◆冬期間の水道使用の注意点
- ①電熱ヒーターの電源を入れる(電熱ヒーターの点検も行ってください)
- ②不凍水抜栓の作動確認を行う(雪による破損防止のため、雪囲いをしてください)
- ③メーターボックスを保温する(メーターボックスに布や発泡スチロールを入れてください)

※「以前より水圧が低くなった」「水がにじみ出ている」といった異常に気付いたら、建設水道課、または町指定の給水装置工事業者に連絡してください。このほか、近所の留守宅や空き家などの漏水確認についてもご協力をお願いします。節水に努めましょう。

喜多方税務署
からのお知らせ

ら、建設水道課、または町指定の給水装置工事業者に連絡してください。このほか、近所の留守宅や空き家などの漏水確認についてもご協力をお願いします。節水に努めましょう。

◆申告に関する相談

所得税・消費税・贈与税の確定申告に関するご相談は「確定申告電話相談センター」をご利用ください。喜多方税務署に電話し、音声ガイドメニューに従って「0番」を選んでください。



◆申告書作成会場の開設
◎開設期間
2月18日(月)～3月15日

喜多方消防本部
からのお知らせ

※申告全般に関する問い合わせは音声ガイドメニューに従って「2番」を選んでください。

- ◆暖房器具の取り扱いに注意
- ①暖房器具のそばで洗濯物を干さない(暖房器具に洗濯物が落ちて引火する危険があります)
- ②暖房器具への給油は火を消してから行う(火を点けたままだと灯油に引火する恐れがあり危険です)



③薪ストーブのメンテナンス

◆ヒートショックに注意

は忘れずに行う(煙突内にたまった煤やタールに引火して煙突内が燃える危険があります)

ヒートショックとは、急激な温度変化による血圧の急な上昇や急な下降、脈拍数の変動などが体に悪影響を及ぼす現象を指します。高齢になればなるほど発症の頻度が高く、外気温が低くなる冬場は特に注意が必要です。



- ◎入浴時の予防法
- ①脱衣所に暖房器具を備えるなどして、部屋と浴室の温度差をなくす
- ②かけ湯などでゆっくり温まるようにし、浴槽のお湯の温度はぬるめにする
- ③入浴前と入浴後に水分をしっかり補給する
- ④食事の直後や飲酒後の入浴は避ける

◆問い合わせ先
喜多方消防本部消防課
☎0241-22-6213



手作りドレッシングde
にんじんサラダ

今月の
オススメ

手作り料理の力 ～家庭料理技能検定～

近年、外食や中食（お惣菜など）の需要が増え続けており、どのように食事を選ぶかが重要になってきています。全て手作りしなくても、お惣菜や加工品などにひと手間（＋野菜など）加える色彩が良くなりますし、栄養バランスも整えることができるのでお勧めです。しかし、そのためには調理する力が大切で、併せて食生活への興味・関心を深めてもらう必要があります。そこで、町では、食育推進のために昨年度から「家庭料理技能検定」を実施しています。検定料を一部補助していますので、皆さんも受検してみませんか。



「調理する力」と 食生活への興味・関心が大切

子どもたちに食の重要性を伝え、また、食文化を継承していくためにも、小学生のうちから積極的に挑戦してほしい検定です。また、大人でも「食生活と栄養」「調理と衛生」について基礎的な知識を確認できる内容になっていますので、親子で一緒に学び、一緒に受検するのもお勧めです。

検定料（町の施設で受検できます）

5級	1400円（通常2000円）
4級	2150円（通常3000円）
3級	1次試験
	2000円（通常4000円）
2次試験	2750円（通常5500円）

※検定料補助のほか、公式ガイドブックの貸し出しも行っています。

***** 基本のドレッシング ***** （フレンチドレッシング）

- 酢 大さじ2
- 塩 小さじ1/3
- こしょう 少々
- 油 大さじ4

作り方

①ボウルに酢、塩、こしょうを入れて混ぜ、塩が溶けたら油を加えて出来上がり（瓶などの容器に入れ、振って混ぜても作れます）。

いろいろな味にするには？

基本のドレッシングに……

- ①カレー粉を小さじ1/2加えて「カレー味」に♪
- ②塩の代わりにしょう油を小さじ2加えて「しょう油味」に♪
- ③ワサビやカラシをお好みで加えて「ピリ辛味」に♪

***** にんじんサラダ（4人分）*****

- ニンジン 小2本（200g）
- 塩 小さじ1/3
- 手作りドレッシング 大さじ4
- クルミ、レーズン …… 適量（お好みで）

作り方

①ニンジンはこすり洗いをし、皮をむく。②皮むき（ピーラー）でニンジンをリボン状にスライスする（長いときは半分に切る）。③塩をまぶし、15分くらい置いて下味を付ける。しんなりしたら、水気を搾る。④ボウルに入れて、ドレッシングを和えれば出来上がり！

家庭料理技能検定とは？

文部科学省、農林水産省、厚生労働省が後援する検定です。健全な食生活を支える家庭料理に係る技能の普及を図り、健康と食生活の向上、食育の推進を目的に1963年（昭和38年）に始まりました。5級は小学校家庭科程度、4級は中学校家庭科程度、3級は高校生から一般程度（2次試験に調理実技があります）です。

「週いち貯筋体操」を始めてみませんか？ 週に1回、良いこと、いろいろ

平成30年6月号のいきいきライフで、「週いち貯筋体操」を紹介しました。今月号では、アンケート調査から分かった、参加している皆さんが週に一度の運動を続けてみて実際に感じた心身や生活の変化について紹介します。



お気軽にご相談
くださいー

内山 豊夏美 保健師

参加者40人を対象に行った
アンケート調査結果から分かる

「週いち貯筋体操」の効果

- 〈体力の向上・身体面の変化〉
 - (1)日頃の動作が楽になった (26人/40人中)
 - (2)腰や膝の痛みが楽になった (19人/40人中)
- 〈心理面・精神面の変化〉
 - (3)気持ちが明るくなった (33人/40人中)
 - (4)おしゃべりが楽しくなった (28人/40人中)
- 〈社会的な変化〉
 - (5)友人関係が良くなった・広がった (28人/40人中)
 - (6)出かける日が増えた (22人/40人中)
- 〈口腔機能の向上〉
 - (7)食事が美味しくなった (27人/40人中)
 - (8)噛めるようになった (19人/40人中)
 - (9)飲み込みやすくなった (18人/40人中)

週いち貯筋体操 応援事業とは

この事業は、集会所などの歩いて通える身近な場所での住民の皆さんが主体となって週1回の体操を続けることを推進する事業です。

町内では、現在、「宝川」「黒沢」「西原」「杉山」「森野」の5箇所で行われています。

皆さんの地域でも 取り組んでみませんか

運動は大切だと分かっているが、1人ではなかなか続けるのが難しいものです。しかし、週いち貯筋体操なら、み



「杉山ぼかぼかサロン」の取り組みを紹介

杉山ぼかぼかサロンでは、毎週木曜日に体操を行っています。69歳から92歳の約10人が集会所に集まり、10時からのケーブルテレビの放送に合わせて体操をしています。また、体操だけでなく、折り紙を使った作品作りなどにも取り組み、親睦を深めています。



←作っている作品の一部。数十個の小さなパーツをつなげて一つの作品を作っています。

んなで集まって一緒に運動するので、「気持ちが明るくなる」「外出の機会が増える」といった心理面や社会的な面での良い効果もあります。町では、この週いち貯筋体操を無理なく始め、継続でき

るよう、週いち貯筋体操応援事業を実施しています。「自分の地域でもやってみたい」という場合は、職員が自治区などに出向いての説明も行っていきますので、お気軽にご相談ください。

西中図書館 新刊オススメ本



『牧子、還暦過ぎてチューボーに入る』

内館 牧子 [著]
主婦の友社

この本は、著者が10年前に重篤な病気に倒れ、臨死体験までしたことから、食の大切さを感じ、還暦を過ぎてから料理をし始めるまでを書いたエッセイです。少しですがレシピも載っています。著者の実体験から健康で長生きするためには、食生活が何より重要であるということを考えさせられました。毎日を丁寧に暮らすことの大切さを教えてくれる一冊です。ぜひ読んでみてください。



『ことば検定 (語彙) 編』

テレビ朝日
「グッド! モーニング」 [編]
朝日新聞出版

『フーガはユーガ』

伊坂 幸太郎 [著]
実業之日本社



『はつ恋』

村山 由佳 [著]
ポプラ社

『救済』

長岡 弘樹 [著]
講談社



町民ギャラリー わらべ・いと 糸

今月は、長谷川 光子さん (縄沢) の作品です。

作品名
「つるし雛とうさぎ雛」

作品作りを振り返って

今まで針などあまり手にすることのなかった私ですが、すてきな素晴らしい「つるし雛」を見せていただいたことをきっかけに作ってみたいと思いました。うまくできるか心配でしたが、指導していただきながら、ひとつひとつ縫い上げ、数カ月かかって作品を作りました。最後に糸につるして仕上げると、すてきな作品には程遠いものでしたが、私にとっては大事な宝物となりました。孫の成長を願い初節句に飾ったところ、喜んでくれたので作ってよかったと思っています。これからも古布を無駄にせず、色合いや組み合わせなどを考慮しながら布を選び、皆さんと一緒に楽しみながら「私の宝物」として作品を作っていきたいです。



ウォーキングサッカーの基本ルール

- ◎笑顔で楽しむ
- ◎全員歩く! または早歩き
- ◎接触、スライディング禁止
- ◎ヘディング禁止! 頭より高くボールを上げるのも禁止!
- ◎ゴールエリアはゴールキーパーだけ入れて、ゴールキーパーはそこから出てはいけない!
- ◎審判へのクレーム禁止!

11月21日に、NPO法人原まちクラブ主催の『ウォーキングサッカー交流会』に参加しました。最高齢の参加者はなんと80代!! 参加するまで80代の人がサッカー

ウォーキングサッカー 交流会に参加しました

高血圧や脂質異常症・動脈硬化、腰痛の改善、骨の強化、肥満の解消、体力増進、また、血液の循環が良くなるので冷え性や肩こりの改善にも効果的です。

ウォーキングの効果

走って追いかけることができない通常のサッカーとのギャップが笑顔を生みます。高齢者の皆さんは、孫や子どもたちなど、若い人たちと一緒にプレーすることで気持ちがりフレッシュし、精神的な安定を得ることが出来ます。

人と人を笑顔でつなぐ ウォーキングサッカー

走らない、歩くサッカー
で笑いが生まれる

ウォーキングサッカーは、年齢や性別、サッカーの経験を問わずに、安心して取り組める新しいサッカーです。パスを出す相手によつてはボールの勢いなどを工夫する必要があるので、子どもたちが運動しながら人に対する思いやりを理解するのに役立ち、また、

をできるなんて思っていなかったので、びっくりしました。

また、参加した人たちの話を聞くと、「冬場の運動不足解消」のほか、「孫世代と一緒にサッカー」ができ、笑い合えるから」など、参加理由はさまざまでした。

ウォーキングサッカーは、思った以上に笑っぱなしで、汗もたくさんかきます。普段、万歩計を付けてる人にとっては数字を見るのが楽しいなスポーツなのではないでしょうか。

今後もいろいろなイベントを企画し、町民の皆さんの体力づくりや生かしていく予定です。ぜひご参加ください。

和太鼓が趣味 成田尚美



写真提供: 原まちクラブ



地域おこし協力隊 (スポーツ担当) 成田尚美 隊員

西会津スポーツクラブ「椅子ヨガ」に参加してみませんか?

西会津スポーツクラブでは、平日の昼間に、月平均8回「椅子ヨガ」を行っています。これまでに延べ131人が参加しました(平成30年12月末時点)。皆さんも参加してみませんか。

参加者の声

- ◎こんなに体を動かしてないのか、と驚いた
- ◎少しづつ体が動くようになってきた
- ◎肩や肩甲骨がほぐれた
- ◎冬も教室があるので、継続して通える
- ◎夜によく眠れる

参加費

西会津スポーツクラブ会員は無料、会員以外は1回300円



講師から

無理せず、体と相談しながら、自分のペースで参加できます。実施日は毎月変わりますので、お気軽に町公民館まで問い合わせください。

雪国生活17年ぶり 成田尚美

戸籍の窓口

(12月受け付け分)

■ まちの人口

	1月1日現在	(前月比)
人口	6,358人	(+ 2人)
男	3,071人	(+ 4人)
女	3,287人	(- 2人)
世帯	2,655世帯	(- 1世帯)

■ お誕生おめでとう

佐藤 華信くん 信英・香織 滑沢

■ ご結婚おめでとう

武藤 雄喜 八重窪
仲川 愛恵 喜多方市

■ お悔やみ申し上げます

五十嵐 花子 (95)	弘子 母	5町内
武藤 恵美子 (82)	佐藤小百合 母	芹沼
清野 昭治 (89)	慶久 父	大久保
佐藤 初子 (85)	郁男 母	出ヶ原
伊藤 ミチ (89)	青津文雄 母	下野尻
長谷川ミチ子 (96)	勲 母	下野尻
齋藤 タカノ (89)	壽雄 母	熊沢
山口 よし (90)	茂起 母	漆窪
高橋 榮次 (82)	弘悦 父	滑沢
細野 直哉 (73)	シズエ 夫	滑沢
佐藤 ミヨ子 (65)	芳友 母	極入
佐藤 喜代通 (90)	喜代隆 父	極入



Dream

聞いて！わたしの夢



[2年・生徒会副会長]

長谷川 姫菜さん

◆私の夢——

私の将来の夢は、まだ決まっていません。でも、人を笑顔にできるような職業に就きたいです。私は去年、JRC活動で地域の皆さんと一緒に花植えを行いました。その時に、初めてきちんと地域の人と交流しました。花植えを行って地域の方々も、私たち中学生も笑顔になりました。この活動は、大人になっても忘れないと思います。このような体験を通して、「笑顔」に関係する職業に就きたいと思いました。

◆努力していること——

私が今心掛けていることは、ボランティア活動に積極的に参加することです。活動は大変かもしれないけど、活動を終えると困っていた方々が笑顔になる姿を何度も見たことがあります。だから、なるべく多くのボランティア活動に取り組むようにしています。

◆未来の自分に一言——

大変なときがあるかもしれないけど、その壁を乗り越えたら幸せな時間が待っていると。何事にも挑戦し、諦めずに取り組んでほしいです。将来の自分、頑張れ！

Person

町民バトンタッチ

佐藤 大貴さん [出ヶ原]

- ◆趣味は？
音楽鑑賞、ラーメン屋巡り
- ◆特技は？
意外に… タイヤ交換
- ◆熱中していることは？
音楽鑑賞 (B'z)
特に「LOVE PHANTOM」
- ◆あなたのモットーは？
謙虚な心を忘れない
- ◆自分を一言で表現すると？
面倒くさがり
- ◆最近感動したことは？
友人や後輩の結婚式
- ◆今後やってみたいことは？
ソロキャンプ
- ◆次の方を紹介してください
Y・Sさん (西原)

とっておきの物は？

高校時代の友人の結婚式での写真です。今でもよく遊ぶ高校時代からの友人たちですが、去年1人他界してしまい、全員で写っている唯一の写真なので、とても大事にしています。



目黒 和人さん (1月号)
からメッセージ

また先輩方を交えて
酒を飲みましょう！



Column

協力隊リレーコラム

出ヶ原和紙協力隊始動しました。

はじめまして、昨年11月に西会津町と福島県の協力隊(福島県協力隊は伝統産業の後継者候補育成を目的に設置されています)、出ヶ原和紙担当に就任させていただきました滝澤です。私は2012年に初めて西会津町に滞在させていただいた以来、2015年ごろに出ヶ原紙に出会い、多くの地域の方に支えられながら、出ヶ原紙の調査、再生に取り組んできました。協力隊では、引き続き出ヶ原紙の継承を軸に、それを地域に生かし、地域に人を呼び込むコンテツツにしていきたいと精一杯試行錯誤していきたいと考えています。とはいえ、原料がなくては始まらないということ、だいたい遅れています。現在、雪の中で楮(こうぞ)を刈り取り、蒸しはぎ作業を行っています。興味ある方がいらっしゃいましたら、ぜひ一緒にやりましょう。今後ともよろしくお願いたします。



滝澤 徹也 隊員

1977年生まれ。東京造形大卒。「小川和紙」の技術継承者育成事業を修了後、東京都無形文化財「軍道紙」の再生に関わる。一方で、アーティストとして世界各地でも活動。

出ヶ原の「子育て地蔵」物語

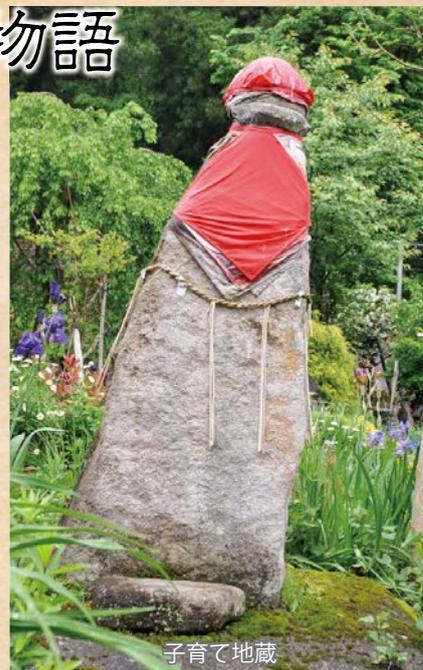
出ヶ原は、国指定重要文化財の円満寺観音堂の所在地として有名です。元々は村の中央部にありましたが、国指定の後、昭和45年から1年かけて解体復元工事を行い伊豆原山神社の前に移築されました。移転前の観音堂の後ろには「子育て地蔵」があります。地蔵様は高さ1.5m、胴回り1.9mの自然石で、地底から出ていることから「根深地蔵」とも呼ばれ、夜泣きを静めさせる地蔵様でもあるため「夜泣き地蔵」としても親しまれています。この地蔵様には次のような話が伝わっています。

『——昔、村に子だくさんの家があったという。どの子ども泣いてばかりいる泣き虫の子ばかりで、家業の紙すき仕事思うようにできなかった。そんな中、妻は子どもらを残し、急に死んでしまった。残された夫は、多くの子どもらを抱え、嘆き悲しんだ。四十九日の法要が終わり、夫は以前から妻が信仰していた観音様（円満寺観音堂）に子どもらを連れてお詣りした。すると、今まで何もなかったところに地蔵様の形をした石がニョッキリと生えていた。これはきっと、観音様が死んだ妻の悲願を哀れと思し召されて、その念力によって地蔵様を出現させてくださったのだろうと、夫は早速、赤い頭巾とよだれ掛けを石にかけ、お詣りを欠かさなかったという。それを聞いた人たちが、泣き虫を直したいときはその地蔵様にお詣りに来るようになったという。』

今でも赤ちゃんが生まれると、赤い頭巾とよだれ掛けを奉納し、子どもの無事や健やかな成長を祈願しています。

参考文献

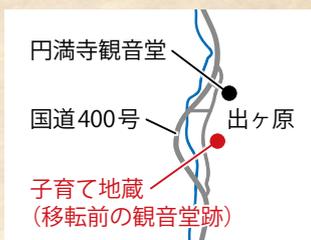
『西会津ふるさとの伝説』丹藤 明



子育て地蔵



移転前の観音堂跡



先月号で2力所もミスをしてしまい、編集後記のスペースがこれだけに…。これを教訓に最後まで確認作業をしっかり行いたいと思います。まだまだ詰めが甘い 長谷川祐一

編集後記

今月の表紙は、1月15日に行われた10町内の歳の神からよく見ると奥の方にも炎と人だかりが……。実は9町内の歳の神も近くで行っており、2つの炎が入るように撮影しました（11ページに関連記事）。

今月の表紙

お詫びと訂正
1月号11ページの3段目の文章が途中で途切れていました。続きは『活動に取り組んでいきます。』です。また、13ページの西会津応援大使の記事で、文中に『町外在住者6人』と記載しましたが、正しくは『町外在住者5人』でした。お詫びして訂正します。